

# Library News



大山崎中学校図書館

令和6年 1月



## Happy New Year!



### 第2回 本の表紙コンテスト結果発表!

12月に行われていました「本の表紙コンテスト」、多数のご参加ありがとうございました。表紙だけでなく中身も気になった人も多かったのではないのでしょうか？  
展示されていた本の貸し出しが可能になりましたのでぜひ読んでみて下さい。

|     |                     |       |
|-----|---------------------|-------|
| 1位  | アンコウの顔はなぜデカイ        | …50 票 |
| 2位  | 夜が明けたら、いちばんに君に会いに行く | …47 票 |
| 3位  | 日本の美しい水族館           | …32 票 |
| 4位  | 夜がうたた寝してる間に         | …31 票 |
| 5位  | コイコワレ               | …28 票 |
| 6位  | 5分後に切ないラスト          | …27 票 |
| 7位  | ストロベリームーン           | …22 票 |
| 8位  | 祝祭と予感               | …17 票 |
| 9位  | なんで信長はお城を建てたの？      | …16 票 |
| 10位 | 神様のいる書店 冬を越えて咲く花    | …15 票 |



当初、『アンコウ・・・』が独走状態でした。読書週間後半『夜が明けたら・・・』が猛然と追い上げ始めましたが、惜しくも届かず。今回は1位と3位が写真の表紙となりました。

## 新着本

### 『サブスクの子と呼ばれて』 山田悠介

「ヒト」のサブスク制度が普及して、誰もが簡単に人材をレンタルするようになった世の中で起きる近未来小説。児童養護施設で育った怜と灰花は違法な児童サブスクでお金を稼いでいた。怜が雇人の異常な要求に苦しんでいた頃、灰花は雇人の元から帰って来ず、二人は離れ離れとなる。10年後、怜は弁護士となり、サブスクでホステスとして働く灰花と再会するが・・・



### 『世界一やさしい依存症入門』 松本俊彦

市販薬のオーバードーズ、耳にしたことがありますか？市販薬を飲みすぎて健康被害がでることで、薬の依存症として今10代の若者の間で増えて問題となっています。薬に限らず、スマホ、リスカ、ゲーム、などなど、世の中には依存症を引きおこし、その人の人生を狂わせてしまうものがたくさんあります。本書はそんな依存症にどのようにしてなっていくのか、そしてどのように治っていくのかが中学生向けに書かれていて、たいへん読みやすく、興味深い内容となっています。



### 『さみしい夜にはペンを持て』 古賀史健

うみのなか中学校のタコジローがいじめを受け学校に通えなくなり、公園のヤドカリおじさんと対話を重ねて成長していく物語ですが、これは小説ではありません。物語形式を通して考えること、言葉にすること、文字にすることの意義を伝えるとてもわかりやすい哲学書のような本です。人は自分と向き合うことによってしか自分の人生を生きられません。そのための手助けとして本書はあります。ぜひ読んでみてください。



## 続編紹介 —— 人気本の続編が登場

壁井ユカコ 2.43 シリーズ

『清陰高校男子バレー部 next 4years』

富安陽子

『博物館の少女 騒がしい幽霊』



## 司書のひとりごと… 昨日の本棚から

## 『文通小説』 眞島めいり

私が中学生だった頃、ネットもスマホも無い時代、香川から大阪に引っ越した私は、香川の親友と3年間文通していました。その頃が懐かしくて、手に取った『文通小説』。

こちらは現代のお話で LINE や電話できるのにあえて文通をしようと言った貴緒と、突然引っ越しを告げられ、動揺したまま貴緒の手紙を待ちわびる、さちよのお話です。さちよの不安や嫉妬、10代ならではの揺らぎがとてもいねいにすくいとられていて、すっかり中学生のあの頃に心が戻ってしまいました。私自身は友との約束通り、同じ高校で再会を果たしましたが、同じ大学でまた会おうと約束した貴緒とさちよは…

